

## 環境研究所紀要第11号：目次,投稿・執筆要項,奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-04-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1786">https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1786</a>

# 武蔵野大学環境研究所紀要

THE BULLETIN MUSASHINO UNIVERSITY  
Institute of Environmental Sciences

## 第 11 号

No.11

### 目 次

### CONTENTS

【巻頭言】	環境研究所 紀要編集委員会	
【特別寄稿】		
私の体験的環境政策論 My experiential environmental policy theory	一方井 誠 治 IKKATAI Seiji	1
【論文】		
SDGs・ESDと防災・減災 SDGs・ESD and DRR	長 岡 素 彦 NAGAOKA Motohiko	84
雷にまつわる伝承に関する科学的検証 Scientific evaluation for folklore related to lightning	小 林 隆 一・林 政 彦・高 橋 和 枝 KOBAYASHI Ryuichi・HAYASHI Masahiko・TAKAHASHI Kazuo	94
拡大生産者責任からみた容器包装リサイクル制度の実態と今後の課題 ～PETボトルリサイクルのマテリアルフローと産業組織～ Evaluation of Japanese PET bottle Recycling System from the viewpoints of Material-flow and Industrial organization; A lack of “Extended Producer Responsibility”	武 山 尚 道 TAKEYAMA Hisamichi	106
山形県飯豊町におけるインバウンド受け入れとCOVID-19の影響 Acceptance of Foreign Tourists and the Impact of COVID-19 on it in Iide Town, Yamagata Prefecture	山 口 泰 史 YAMAGUCHI Yasufumi	125
SDGs ゴール3.9 —有害化学物質による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる—を考える Think to SDGs Goal 3.9 —Reducing the number of deaths and diseases caused by Hazardous chemical substances	伊 藤 伸 也 ITO Shinya	142
アーバンビレッジ再考 —シアトル市の取組からの考察— Review and Rethinking of Urban Village —A Study on Seattle’s Urban Village Strategy—	陣 内 雄 次 JINNOUCHI Yuji	151
気候変化に関する国際的取組の推移 —科学的コンセンサス形成から気候変動枠組条約成立まで— International Development of the Issue on Climate Change — From Development of the Scientific Consensus to Adoption of the UNFCCC—	横 山 隆 壽 YOKOYAMA Tahahisa	160
科学がいえることと政策でやりたいことの折り合わせ方についての一論考 Logic and Decision Making when policies meet science	滝 口 直 樹 TAKIGUCHI Naoki	177
環境をテーマにしたワークショップデザインの取組み Practice with the workshop design done with the theme of the environment	松 田 剛 史 MATSUDA Takeshi	186
メキシコ沿岸域におけるサルガッサムの異常増殖に関する報告 羽 地 朝 新・真 名 垣 聡 The floating mats of <i>Sargassum</i> seaweed in Mexican coastal zone	HANEJI Chosin・MANAGAKI Satoshi	196

武蔵野大学環境研究所

Institute of Environmental Sciences, MUSASHINO UNIVERSITY

2022

## 武蔵野大学環境研究所紀要投稿・執筆要項

### 1. 目的

武蔵野大学環境研究所紀要(以下「紀要」という)は、武蔵野大学(研究所・大学院を含め以下「本学」という)の教員および大学院学生等の研究成果(以下「論文」という)を年1回公表することを目的とする。

### 2. 投稿資格

- (1) 紀要に投稿できる者は、①嘱託・客員・非常勤を含む本学教員・研究員ならびに大学院学生・研究生、②本学関係者で紀要編集委員会(以下「委員会」という)が認めた者、③委員会が投稿を依頼した者、とする。なお、以上の原則に該当しない場合は、委員会が判断する。
- (2) 前項②の「関係者」とは、大学院を修了・退学した者で本学に提出した修士論文・博士論文に関わる成果を発表しようとする者、および本学の研究活動と密接に関わる成果を発表しようとする者(共同研究の相手方など)、とする。なお、修士論文関連の投稿は論文提出後1年以内、博士論文関連の投稿は論文提出後2年以内に限る。
- (3) 大学院学生・研究生および(1)項②の「関係者」は、事前に指導教員または担当教員の承認を得たうえで、当該教員を通して投稿申し込み、原稿提出、校正刷りの受け渡し等を行う。
- (4) 論文は未公刊で和文または英文によるものに限る。なお投稿は1名につき1編とするが、筆頭でない共同執筆となる場合は複数の投稿を認める場合がある。また筆頭でない共同執筆者の範囲は、論文への相応の貢献が認められる限り、特に制限しない。
- (5) 投稿者は、共著者も含め、投稿論文が電子化され、広く一般に公開されることを前提に、著作権・肖像権等が処理済みであること。

### 3. 年間スケジュール

- (1) 論文の投稿申し込み期限は毎年7月末日、原稿の提出期限は10月末日とする。
- (2) 紀要の刊行は翌年3月とする。印刷仕上がりは原則として白黒となる。

### 4. 投稿要領

- (1) 原稿は、完成したものを、電子記録媒体と出力原稿(2部)の両方で提出する。
- (2) 原稿(和文)はA4判用紙(縦置き)1枚に横書き43字×38行の印字で16枚以内とする。これには、表題から文献リストまで、本文、図、表、写真、抄録等の一切を含む。英文の場合もこれに準じる。
- (3) 和文原稿の表記には、特別な理由がない限り、常用漢字、現代かなづかい、算用数字を用いる。
- (4) 原稿冒頭に約12行分を確保し、①和文表題、②英文表題、③執筆者氏名(和文表記)、④執筆者氏名(ローマ字or英文表記)を記載する。なお、冒頭頁の脚注となる執筆者情報は委員会で編集する。
- (5) 図、表、写真の挿入個所は十分な誌面余裕をもって指示し、これらの原稿は、1件/頁の印刷が可能な形式で別ファイルに格納する。なお、イメージファイルについては十分な精細度を持つものに限る。

### 5. その他

- (1) 論文は無審査を原則とするが、掲載の適切性に疑義がある場合は、委員会の指示にしたがうこと。
- (2) 校正は2回、委員会を介して実施する。校正時に大幅な変更があった場合は、掲載を拒否できる。
- (3) 抜刷は30部までは無料。それ以上を希望する場合は30部超過分の費用は執筆者負担となる。
- (4) 論文の著作権は執筆者に帰属する。ただし、紀要の刊行により公表された論文について、本研究所は成果公表目的の範囲内で複製、翻案、公衆送信、リポジトリ(電子アーカイブシステム)等の権利を保有する。

**武蔵野大学環境研究所紀要編集委員会**

委員長 一方井 誠治

委員 真名垣 聡

**武蔵野大学環境研究所紀要 第11号**

---

2022年2月28日発行

編集 武蔵野大学環境研究所紀要編集委員会

発行 武蔵野大学環境研究所

〒135-8181 東京都江東区有明 3-3-3

電話 03-5530-7730 (研究支援部学部事務課)

印刷 明誠企画株式会社

〒208-0022 東京都武蔵村山市榎 2-25-5

電話 042-567-6233

---